日中連携で中国IT人材の育成と活用

成都ウィナーソフト（株）総裁兼CEO　周　密

2015.11.19

AGENDA

1. 中国IT人材活用の現状
2. 中国IT人材活用の課題
3. 中国IT人材活用の展望

日中IT産業と人材の比較
日本で仕事している中国IT人材の現状
意外な若い中国人の日本離れ

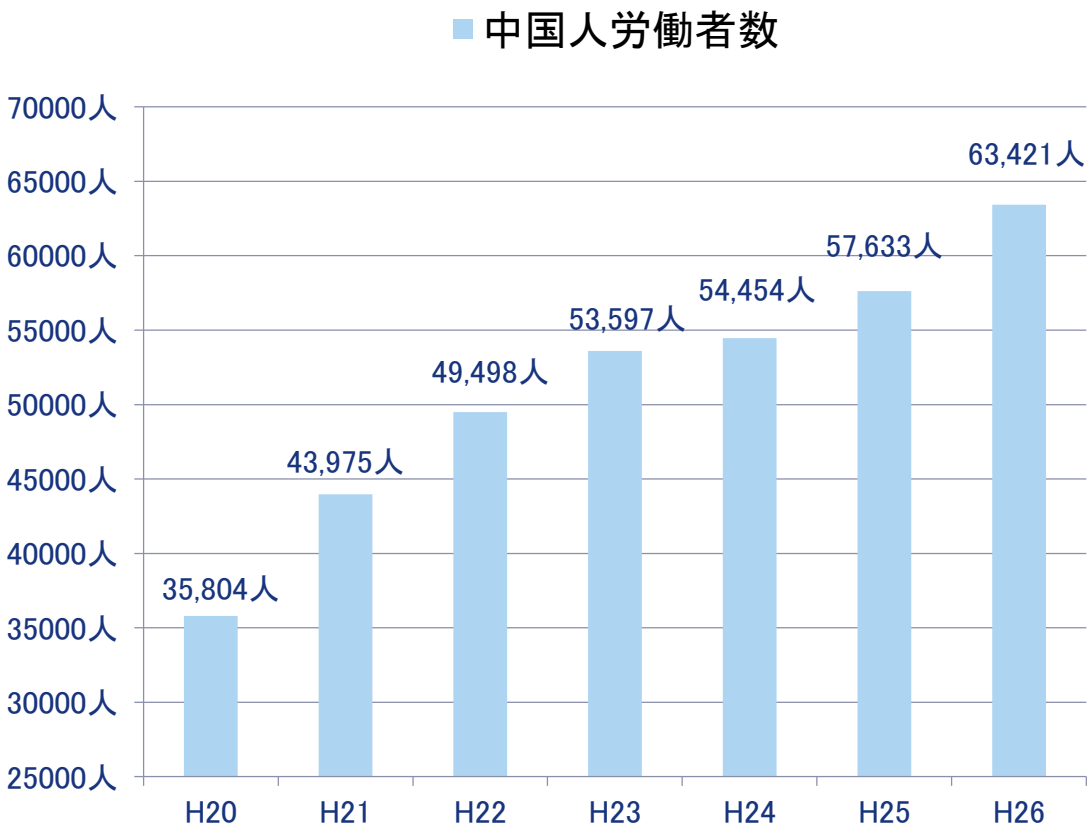
中国IT人材活用の現状

日中IT産業と人材比較

- 情報通信産業規模
  - 中国280兆円、日本82兆円
- 情報サービス産業規模
  - 中国74兆円、日本14兆円
- IT産業就業者数
  - 中国540万人、日本110万人
- 大学卒業者数
  - 中国749万人、日本56万人

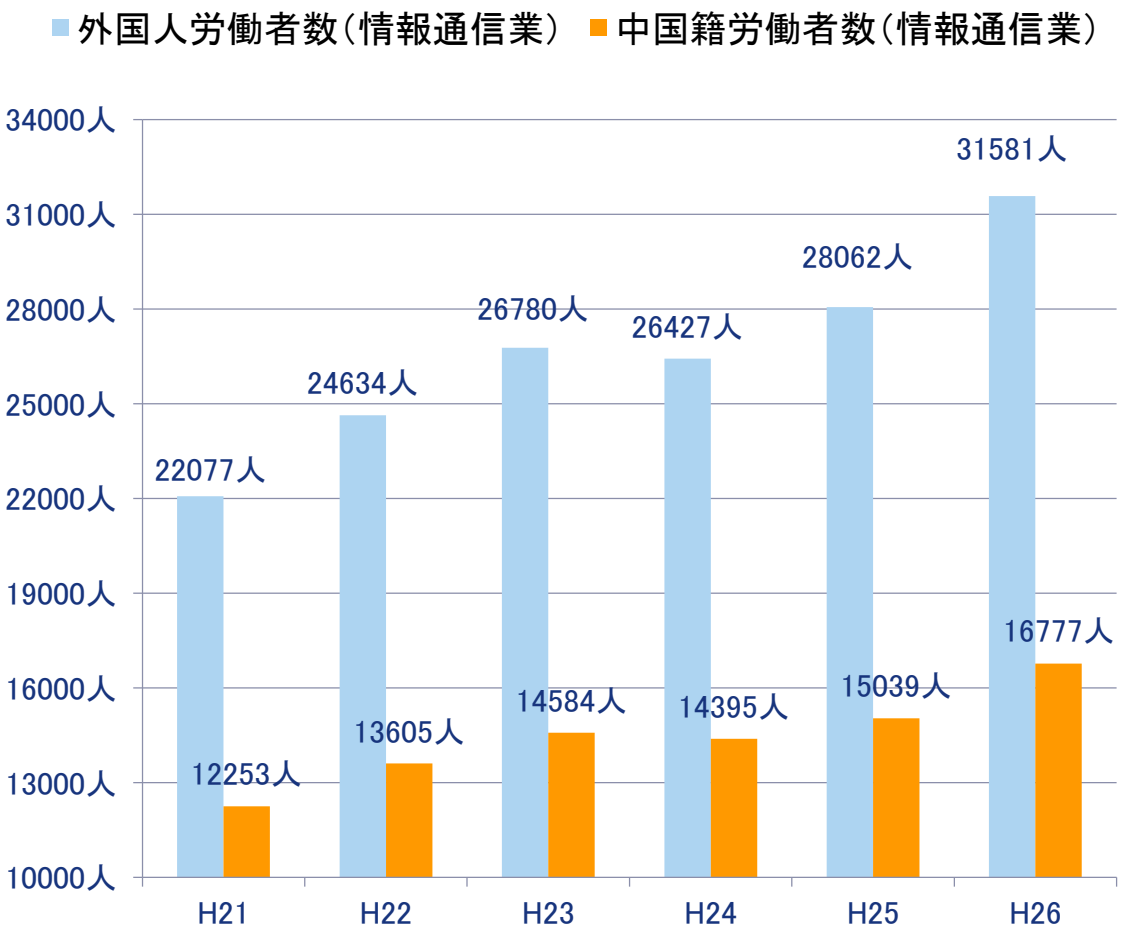
（出所：中国工信部、教育部、日本経産省、総務省、文部省発表データ）

日本滞在中の中国籍労働者数（専門的・技術的）



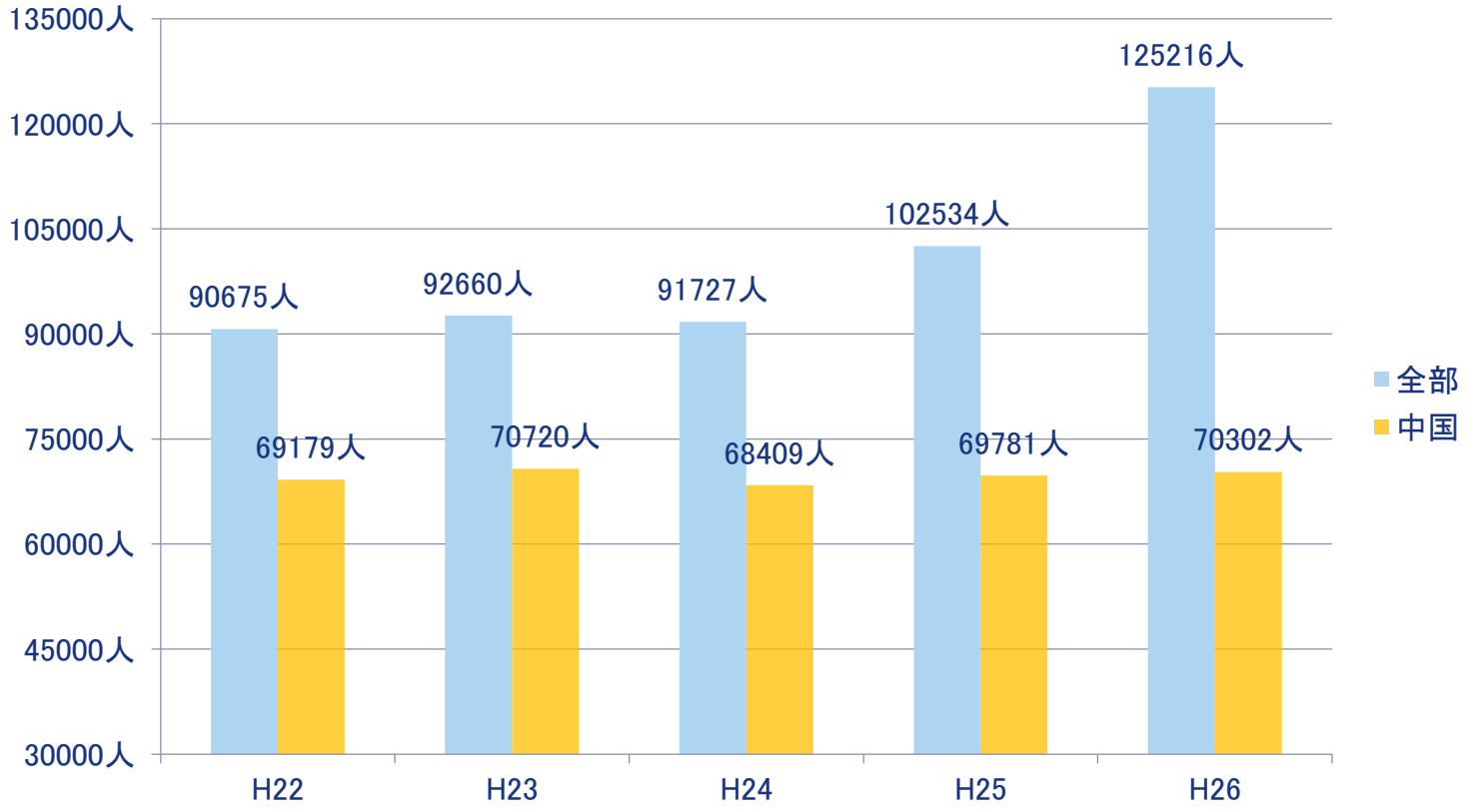
出典：厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ

日本滞在中の外国人労働者数(情報通信業)



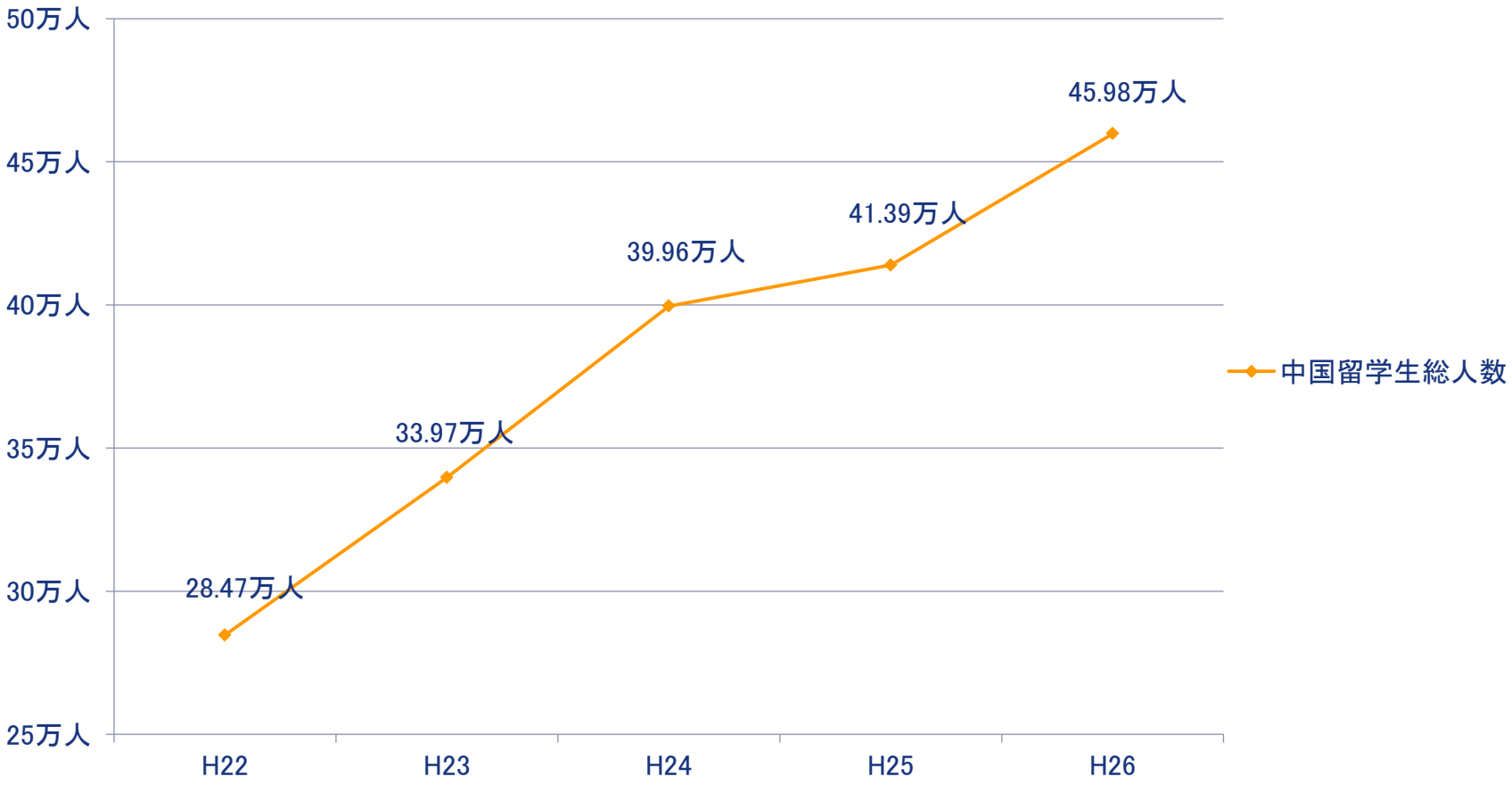
出典:厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ

日本の留学生人数



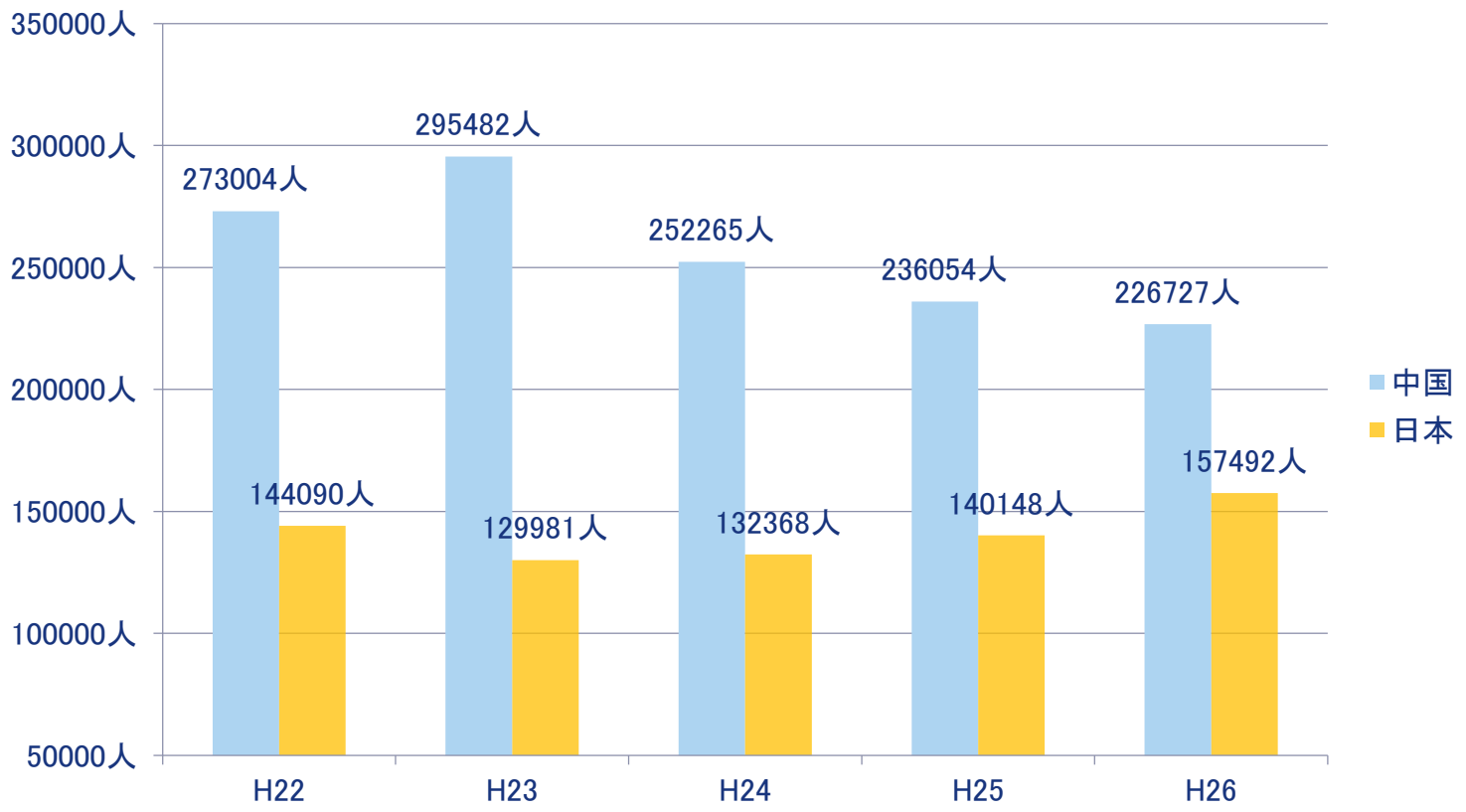
出典：厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ

中国留学生総人数



出典:中国教育部

日本語能力試験応募者数(N1-N5)



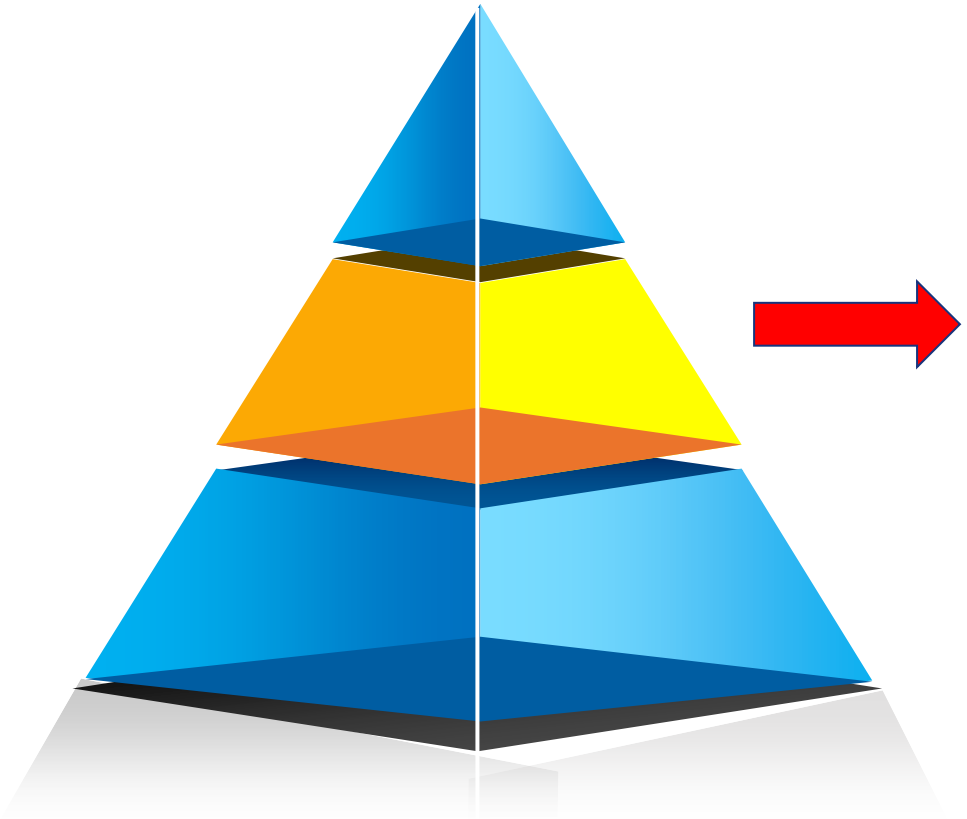
出典:国際交流基金日本国際教育支援協会日本語能力試験統計データ

人材の「乱獲」が大連をだめにした
Eコマース企業などに優秀な人材が流れる
日本のITの仕事の魅力が低下
日本企業の外国人材活用の準備ができていない

中国IT人材活用の課題

人材の「乱獲」が大連をだめにした

- 大連オフショア企業の人材ピラミッド



日本へ

- 持続可能な人材生態圏作りは日中両国企業の責任

Eコマース企業などに優秀な人材が流れる

- 中国大手IT企業大卒初任給

企業名	初任給（月給）
グーグル中国（Google中国）	360,000円（研究開発類）
アリババ・グループ（Alibaba）	260,000円～360,000円
テンセント（Tencent）	240,000円～280,000円
バイドゥ（Baidu）	260,000円
ファーウェイ（Huawei）	200,000円～260,000円

日本のITの仕事の魅力が低下

- 賃金格差がなくなった
- キャリアパス不明
- 最先端の技術に触れるチャンスが少ない
- ITの仕事に高いプライドが持てない
  - IT技術者の社会におけるステータス
- 中国人IT技術者の日本での生態
  - 多重派遣
  - 上流の仕事に参加できるチャンスが少ない
  - 中国人ばかりの職場環境の中で日本社会に本当の意味で溶け込んでいない

日本企業の外国人材活用の準備ができていない

- 意識：目先のマンパワーとして
  - 企業の長期ビジョンとどう関連しているか人材も見ている
- 制度：会社側の改革が遅れている
  - 外国人向けの人事制度：より成果主義、キャリアプラン、暗黙の了解→はっきり伝える
  - 流動性に対応する組織・制度作り
  - 事例：課長になれない40代、中国駐在の前提条件は日本に帰化すること
- 文化：信用vs.任せっきり
  - 中国現地法人のケース

日中Win-WinのIT（組込み）産業構造の構築
日中一体で中国人IT人材の育成と活用
ウィナーソフトグループの取り組み

中国IT人材活用の展望

IT産業の競争力に関わる要素の国際比較

	中国	日本	米国
IT製品の生産能力	○	△	○
IT企業の創業意欲	○	×	○
IT人的資源ストック	○	△	○
国民経済全体の成長度合い	○	×	△
政府のIT産業促進政策	○	△	△
IT市場の発展潜在力	○	×	○
IT産業発展の環境	△	△	○
IT産業インフラ	△	○	○
ITのブレークスルー能力	×	△	○
IT製品の開発能力	×	○	○
IT製品のコアパーツ	×	○	△
IT知財の保護法律	×	○	○

説明：○=強い、△=中程度、×=弱い。
出典：立正大学経済学部　苑志佳教授

日中Win-WinのIT（組込み）産業構造の構築

- 中国組込み産業の可能性
  - 2014年中国ソフトウェア産業の売上高37026億元の内、組込みソフトは約16%を占め、売上高は6117億元
  - 中国TOP10のソフト会社の内、7社は組込みソフトに取り組んでいる
  - 産業高度化に伴い、近い将来、中国は世界最大な組込み市場になる
- 「中国製造2025」
  - 核心は組込み技術
  - 従来の規模だけの「世界の工場」に国も企業もあまり興味がない
  - 日本との連携を強く望んでいる（国務院マクロ経済研究所研究員談）
- 民間主導の日中連携
  - 日中企業間提携によるマーケティング・研究開発・製造などの分業と協業
  - 多分野で基礎研究、要素技術、応用技術などで日中産学連携

日中一体で中国IT人材の育成と活用

- オフショアモデルの終焉
  - 中国IT企業は単なる日本IT企業の工場になりたがらない
  - 中国人IT技術者がオフショア企業に就職したがらない
- 日本企業にとっての中国のメリット
  - 中国市場
  - 優秀な中国人の頭脳
  - グローバルユーザーに対する現地サポート
- 「人」を中心に長期ビジョンで
  - 中国の大学在学中から企業が学生と交流（講座、研修、実習など）
  - 5年～10年スパンでのキャリアデザイン
  - 日中両国でOJTによって人材育成
  - 企業発展計画と戦略に合わせた人材活用

ウィナーソフトグループの取り組み

成都ウィナーソフト

・選抜人材を人材転換センターにて教育し、OJTを行う

・社内トレーニングに合格した後、各部署に配属

選抜社員

卒業前日本研修
㈱ウィンリッチ福岡OJTセンター

㈱ウィンリッチ

中国に回流

日本にて業務スキルと開発経験を積んだ後、中国に戻り、対日プロジェクト・日本企業の中国進出に参画。

選抜社員は
・㈱ウィンリッチ入社

ウィナーソフトグループの取り組み

ユーキャンと中国貴州省で年間10万人を目標に、組込みとコールセンター人材育成に取り組む

Thank You !

ご清聴ありがとうございました